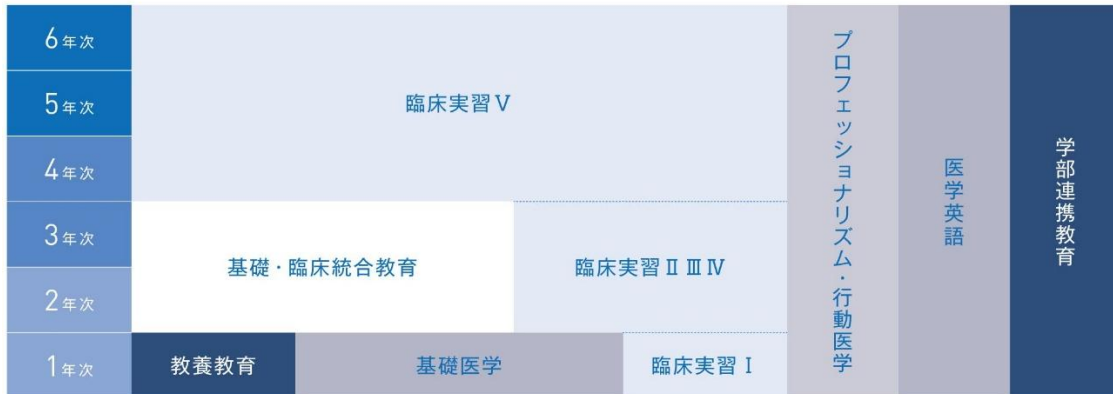


カリキュラムの流れ

医学部

日本一の医学教育で
自主性を持った人間性豊かな医学生を育てます

カリキュラム全体像



教育概要

1年次

**基礎医学を学びながら、早期に模擬診療に挑戦！
これが昭和医科大学の強み！**

基礎医学を学び、診療技術を磨き、人間性を育む第一歩の時期です。入学直後から医師としての心構え（プロフェッショナルな精神）、血圧測定などの診療の基本技術、生化学、生理学、解剖学などの医学の基礎を学びます。そして、人体の仕組みや病気のメカニズムを理解し、現場で役立つ確かな基盤を築きます。また、学部連携教育において他学部の学生と共に学ぶことにより豊かな人間性を養い、外国語、倫理学、社会学など医学以外の知識を身に付けることにより医療人としての教養を深めます。

2年次～3年次

**看護実習や多職種体験実習の後、毎週1日は病院で臨床実習！
実践力を伸ばす2年間。**

基礎医学と臨床医学を統合したカリキュラムを通じて病気の仕組みを深く理解し、それを臨床現場で活用するスキルを養います。症例検討や生成AIを活用した学習では学生同士で教え合います。シミュレーション教育では、より実践的な診療技能を身につけます。また、看護実習、多職種体験実習、全科実習など段階的に臨床実習に参加することにより、チーム医療や医師の心構えを修得します。そして、診療参加型臨床実習への参加にあたり、これまで学修してきたことを評価する「共用試験（CBT、OSCE）」に挑みます。

4年次～6年次

**チームの一員として患者を診療。
国内外で臨床経験を積むことができる。**

診療参加型臨床実習を通じて、医療チームの一員として研修医、専攻医、指導医らと協力し患者を治療します。1か月単位で診療科をローテーションし、カルテの記載、カンファレンスでの発表、手術への参加、手技の実施など、上級医の指導のもとで許容される医療行為を実践します。5年次後半からは、国内外の病院での臨床実習、研究活動への参加、基礎医学教育の復習や再学習などのカリキュラム（選択制）が用意され、医師として必要な能力を最終的に完成させます。

カリキュラムの流れ

歯学部

患者さんに寄り添い、
チーム医療の中で活躍できる歯学生を育てます

カリキュラム全体像



教育概要

1年次

人の関わり方、 豊かな人間性を養う

全寮制教育を通して、医療人としての基本的な心構え・姿勢をしっかりと身につけ、豊かな人間性を養うとともに、体験実習などの専門領域の学習を開始します。4学部が共に学ぶ「チーム医療教育」も展開されます。

2年次

からだ全体から 歯科の役割を知る

歯と口腔内の疾患を全身の関わりの中で理解するとともに、歯科治療に必要な材料・器械・技術を知り、歯科臨床の基礎を身につけます。また、体験実習を通して、地域・社会における歯科医師の役割を学んでいきます。

3年次

臨床科学を学び 基本手技を身につける

歯科の基本的な診断・治療や各附属病院・地域の歯科クリニック・療養施設の見学など、多様な臨床科目や実習科目が展開されます。また、4学部合同のPBLチュートリアルなど、チーム医療の中での課題解決力を養う本学ならではの授業も行われます。

4年次

実践的な手技の取得と 共用試験による評価

高齢者や特別な配慮が必要な患者さんの歯科治療、摂食嚥下・言語リハビリテーションなど、歯科臨床の幅広い分野を学びます。共用試験(CBT・OSCE)による臨床能力の評価に合格すると、5年次より歯科病院における診療参加型臨床実習を開始します。

5年次

診療参加型臨床実習で 実践応用力を養う

歯科病院ならびに各附属病院で診療参加型臨床実習が展開されます。専門各科をローテートし、担当教員のもと、患者さんの診療に参加します。また、臨床実習での修得レベルを評価する臨床実地試験(CPX)と一斉技能試験(CSX)に臨みます。

6年次

発展的な臨床実習および 国家試験に向けた仕上げ

各附属病院のほか、学外および海外の希望する医療施設での臨床実習に参加します。また、関連する基礎講座で臨床に必要な基礎知識を再確認するとともにEBM※を実践する能力を養います。総括演習で6年間の学びを確認し、国家試験に臨みます。

※EBM: Evidence-Based Medicine

カリキュラムの流れ

薬学部

患者を知り、患者から学び、患者に貢献する、
シン・臨床薬剤師の育成

カリキュラム全体像

	プロフェッショナリズム			
6年次	薬学研究実践プログラム 症例研究実践コース (病院クリニカル・クラークシップ)	薬学研究実践プログラム 臨床研究実践コース (臨床研究)	薬学研究実践プログラム 基盤研究実践コース (基礎研究)	チーム医療教育
5年次	診療参加型臨床実習(病院/薬局クリニカル・クラークシップ*)		4学部連携 病棟/地域医療実習	
4年次	ファーマシューティカル・ケア・プログラム 臨床実習事前学修	薬学研究入門	4学部連携 チーム医療PBL (I・II・III)	社会と薬学
3年次	基礎・臨床統合科目 「薬と疾病」	臨床薬学関連科目 シミュレーション演習・実習 臨床実習(見学型)	在宅チーム医療と 倫理TBL (I・II)	
2年次			領域別 薬学専門科目	初年次体験 臨床実習
1年次	一般教養科目(薬学英語も含む)			

*クリニカル・クラークシップとは、学生が医療チームの一員として実際の治療に参加し、より実践的な能力を身につける参加型の臨床実習です。

教育概要

1年次

患者(ヒト)から始まる薬学教育

昭和医科大学の薬学教育は患者(ヒト)から始まります。入学直後から、患者に貢献する臨床薬剤師の心構えや、医療や社会での薬学の役割を能動型学修で学びます。また、患者(ヒト)と薬(化合物)に繋がる基礎専門科目や早期臨床体験実習(病院/薬局)を通じて、現場で役立つ薬学の基礎知識を身につけます。そして、学部連携教育や寮生活を通して「チーム医療」の根幹と他人を思いやる豊かな人間性を養います。

2年次～4年次

「基礎」と「臨床」を繋ぐ実践的なカリキュラム

臨床薬剤師の基盤となる薬物療法は、基礎と臨床の統合型カリキュラムで学びます。基礎薬学と臨床薬学を統合させた講義や豊富な症例検討を通じて、患者に貢献できる実践力を身につけます。また、附属病院における臨床薬剤師見学、医師の外来診察・看護業務、救急病棟や手術室等の見学実習、そして、患者応対などのシミュレーション演習や多職種連携実習等を通じて、「チーム医療」を担う実践力を段階的に養います。

5年次～6年次

実践力を養う「診療参加型臨床実習(病院/薬局クリニカル・クラークシップ)」

昭和医科大学薬学部の臨床実習は「診療参加型臨床実習(病院/薬局クリニカル・クラークシップ)」です。学生は、附属病院で15週間、地域の保険薬局で11週間、医療チームの一員として医師、看護師、指導薬剤師らと協力しながら、実際の薬物治療に参加します。この経験を通じて、患者から学び、そして患者に貢献するための実践力を身につけます。

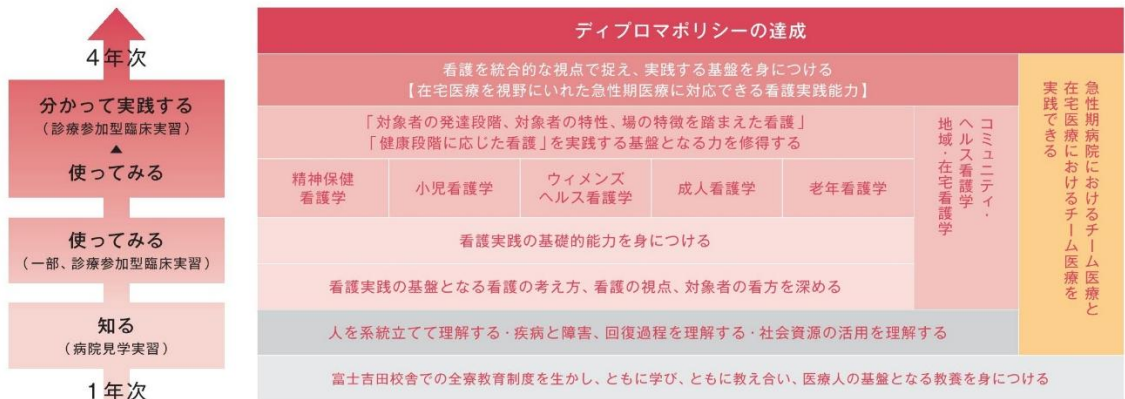
さらに、6年次では、附属病院でのアドバンスト臨床実習(20週間)を含む「症例研究実践コース」、患者カルテ情報や治療成績を解析する「臨床研究実践コース」、基礎研究で新規医薬品の開発を目指す「基盤研究実践コース」と、選択制の薬学研究カリキュラムが用意されています。これにより、臨床薬剤師としての問題発見・解決能力を磨き、より高度な実践力を養います。

カリキュラムの流れ

保健医療学部 看護学科

医療専門職として幅広い教養と豊かな人間性を養い、
地域医療を視野に入れて急性期医療に対応できる看護師を育てます

カリキュラム全体像



※保健師課程は選択制となり、別途カリキュラムあり。

教育概要

1年次

〈医療人としての基盤〉

***医療人として、広く「人」を捉える視点を養う**
***看護の専門性を考える基盤を身につける**

- 他の医療職を目指す学生と共に生活し、学び合うことで、さまざまなものの見方を育みます。
- 文化、社会、自然、言語、行動、心理など、さまざまな観点から「人間」について学びます。
- 看護の基礎的知識や態度を身につけるとともに、附属病院での初年次体験実習を通して、看護の専門性を考えるものの見方、考え方や学ぶ姿勢を身につけます。

2年次

〈看護の基本〉

***看護の対象者となる「人」を理解する能力を身につける**
***基本となる看護の実践能力を身につける**

- 看護の対象者を理解するために、健康や疾病、障害について学びます。
- 看護実践の基本となる知識・技能・態度を学修します。
- 附属病院での実習において観察やコミュニケーションなどの手段を用いて情報収集を行い、健康問題を抱える対象者に必要な看護を実践する基礎的能力を身につけます。

3年次

〈看護の展開〉

***対象者を多角的に捉え、その人が抱える問題に対し、場の特徴をふまえて看護を実践する能力を身につける**

- 2年次までに学修した内容をふまえ、健康段階や発達段階、看護の場の特徴づけられるさまざまな患者のニーズを捉える能力を身につけます。
- 在宅医療を視野にいれた看護実践力を身につけるため、保健医療福祉に関する理解を深めます。
- 附属病院での領域別実習を通じて、学びを統合した看護実践に取り組みます。

4年次

〈看護の統合〉

***多様な場で看護を発揮できる能力を身につける**
***看護の専門性を探求する能力を身につける**

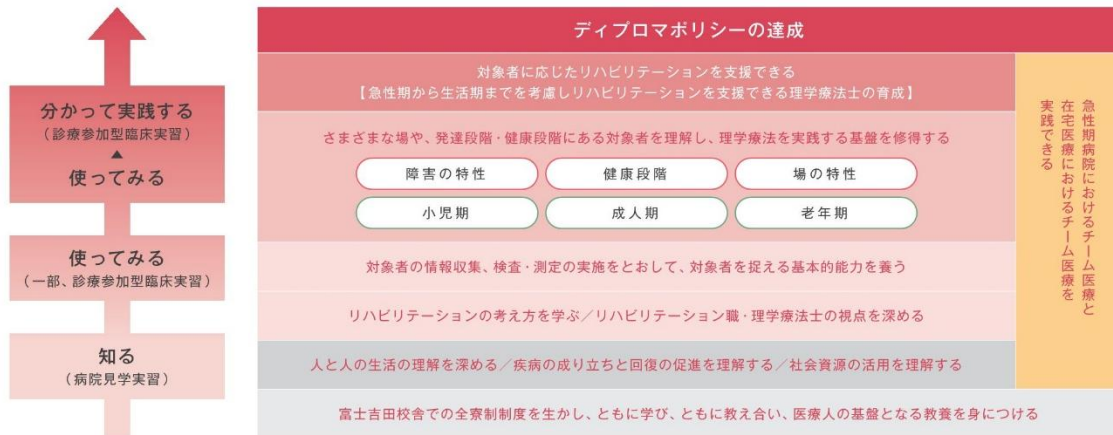
- 3年次までに学修した内容をふまえて、診療参加型実習において看護の専門性について考え、看護チームの中で発揮していく能力を身につけます。
- 実習の場を対象者の暮らしの場(居宅・施設)に広げ、発展的に看護を実践する能力を身につけます。
- 卒業研究において看護の課題を見出し、探求するための基本的な能力を身につけます。

カリキュラムの流れ

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

対象者のリハビリテーションを、
全人的な視点を持って支援できる理学療法士を育てます

カリキュラム全体像



教育概要

1年次

医療人として、広く「人」を捉える
視点を養うリハビリテーション、
理学療法を考え続ける基盤を身につける

- 他の医療職を目指す学生と共に生活し、学び合うことで、さまざまなものの見方を育みます。
- 文化、社会、自然、言語、行動、心理など、さまざまな観点から「人間」について学ぶとともに、医療人としての基礎知識や態度を身につけます。
- リハビリテーションの考え方を学び、附属病院での初年次体験実習を通して、理学療法士の役割と専門性を考える基盤を身につけます。

2年次

検査・測定を含めた情報収集をととして、
対象者のニーズと抱える問題を捉える
基本的能力を養う

- 人体のしくみ、疾患・障害とその回復過程を知るとともに、臨床で必要となるコミュニケーション能力や倫理観を養い、対象者を捉える基礎を学修します。
- 附属病院での実習において、理学療法士の視点で、検査・測定、コミュニケーションなどの手段を用いて対象者の情報収集を行い、対象者の状態を把握する能力を養います。

3年次

臨床推論能力と、
対象者に応じた理学療法を実践する
能力を身につける

- 理学療法体系を学び、臨床での理学療法実践へと学修を進めます。
- 検査・測定、コミュニケーションといった手段を用いて収集した情報をもとに、対象者の抱える問題を把握し、その解決を立案する臨床推論能力を身につけます。
- 附属病院での診療参加型実習で臨床推論能力を発揮し、リハビリテーションを支援する理学療法プログラムを立案・実施する能力を身につけます。

4年次

疾病や障害を抱えながら
地域で生活する対象者を多角的に捉え、
理学療法を実践する能力を身につける

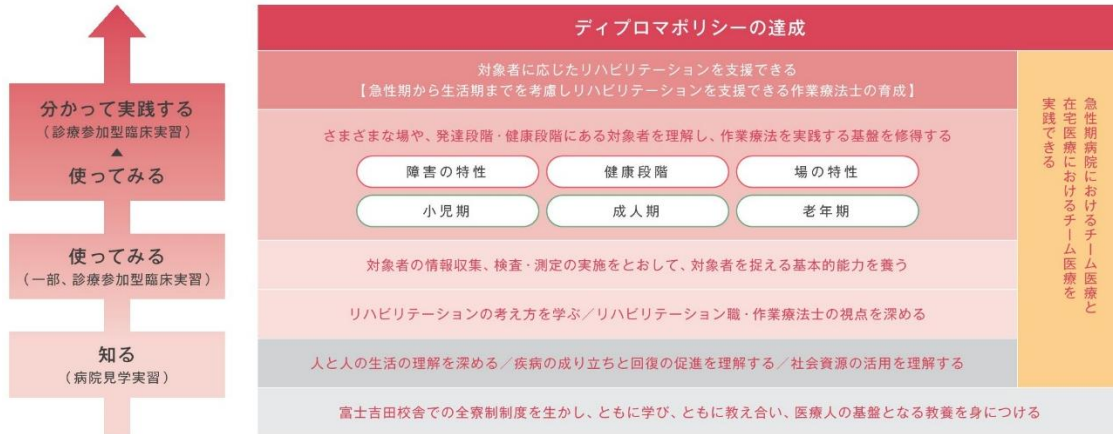
- 病院から対象者の生活の場へリハビリテーション支援の場を広げ、生活者の視点で対象者を理解し、理学療法を実践する力を身につけます。
- これまでの専門職教育と学部・学科連携教育を通じて、理学療法士としてのプロフェッショナリズム、医療人としてのアイデンティティの構築を目指します。
- 課題を見出し、自ら理学療法を探究する姿勢を身につけます。

カリキュラムの流れ

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

対象者のリハビリテーションを、
全人的な視点を持って支援できる作業療法士を育てます

カリキュラム全体像



教育概要

1年次

医療人として、広く「人」を捉える
視点を養うリハビリテーション、
作業療法を考え続ける基盤を身につける

- 他の医療職を目指す学生と共に生活し、学び合うことで、さまざまなものの見方を育みます。
- 文化、社会、自然、言語、行動、心理など、さまざまな観点から「人間」について学ぶとともに、医療人としての基礎知識や態度を身につけます。
- リハビリテーションの考え方を学び、附属病院での初年次体験実習を通して、作業療法士の役割と専門性を考える基盤を身につけます。

2年次

検査・測定を含めた情報収集をとおり、
対象者のニーズと抱える問題を捉える
基本的能力を養う

- 人体のしくみ、疾患・障害とその回復過程を知るとともに、臨床で必要となるコミュニケーション能力や倫理観を養い、対象者を捉える基礎を学修します。
- 附属病院での実習において、作業療法士の視点で、検査・測定、コミュニケーションなどの手段を用いて対象者の情報収集を行い、対象者の状態を把握する能力を養います。

3年次

臨床推論能力と、
対象者に応じた作業療法を実践する
能力を身につける

- 作業療法体系を学び、臨床での作業療法実践へと学修を進めます。
- 検査・測定、コミュニケーションといった手段を用いて収集した情報をもとに、対象者の抱える問題を把握し、その解決を立案する臨床推論能力を身につけます。
- 附属病院での診療参加型実習で臨床推論能力を発揮し、リハビリテーションを支援する作業療法プログラムを立案・実施する能力を身につけます。

4年次

疾病や障害を抱えながら
地域で生活する対象者を多角的に捉え、
作業療法を実践する能力を身につける

- 病院から対象者の生活の場（地域）にリハビリテーション支援の場を広げ、生活者の視点で対象者を理解し、作業療法を実践する力を身につけます。
- これまでの専門職教育と学部・学科連携教育を通じて、作業療法士としてのプロフェッショナリズム、医療人としてのアイデンティティの構築を目指します。
- 課題を見出し、自ら作業療法を探究する姿勢を身につけます。